

# CERIのGPS/JIPS支援

## GPS/JIPSガイダンスに沿った化学物質のリスク評価を支援します

- ✓ GPS/JIPSを通して、貴社における自主的な化学物質のリスク管理を支援します。
- ✓ 化審法、REACH規則等への対応と併せ、お手持ちの情報等を活用した効率的なJIPS対応のアドバイスが可能です。

### CERIのGPS/JIPS対応メニュー

導入

#### GPS/JIPS対応の準備

- ・GPS/JIPSに関する社内教育、評価対象物質選定等のJIPS対応への準備をお手伝いします。

評価準備

#### スクリーニング評価

- ・GHS分類、SDS等の情報に基づく評価の優先順位設定のためのスクリーニング評価を実施します。

リスク評価

#### 有害性評価、曝露評価、リスク判定

- ・**お手持ちの有害性情報等を最大限活用して**、有害性情報の収集、評価、アセスメント係数の設定及びそれらのデータ等を用いたリスク評価を行います。
- ・QSAR／カテゴリーアプローチ等を用いたデータギャップの補完を行います。
- ・ECETOC-TRAをはじめとする曝露量推定ツールを活用し、貴社の状況に合わせた曝露シナリオを作成し、リスク評価を行います。

※ 部分的な実施も可能です。ご相談ください。

文書作成

#### リスク評価文書、安全性要約書の作成

※ 既の実施された有害性評価・リスク評価結果の活用等、ご相談ください。

お問合せ先: 安全性評価技術研究所  
担当: 石井(聡)、窪田

Tel:03-5804-6136 Fax:03-5804-6149 E-mail:cac-reach@ceri.jp

# GPS/JIPSとは？

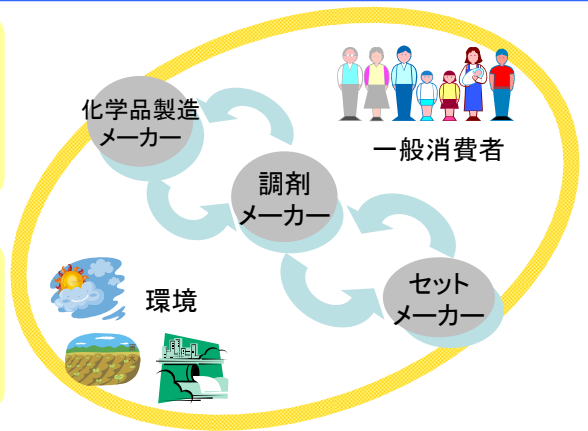
GPS/JIPSは企業による自主的なリスク評価・リスク管理の取り組みです

JIPS (Japan Initiative of Product Stewardship) は、国際化学工業協議会協議会 (ICCA) のプロダクトステewardシップ (PS) / グローバルプロダクト戦略 (GPS) を基本概念とした、日本化学工業協会によるリスク評価・リスク管理の自主的取り組みです。

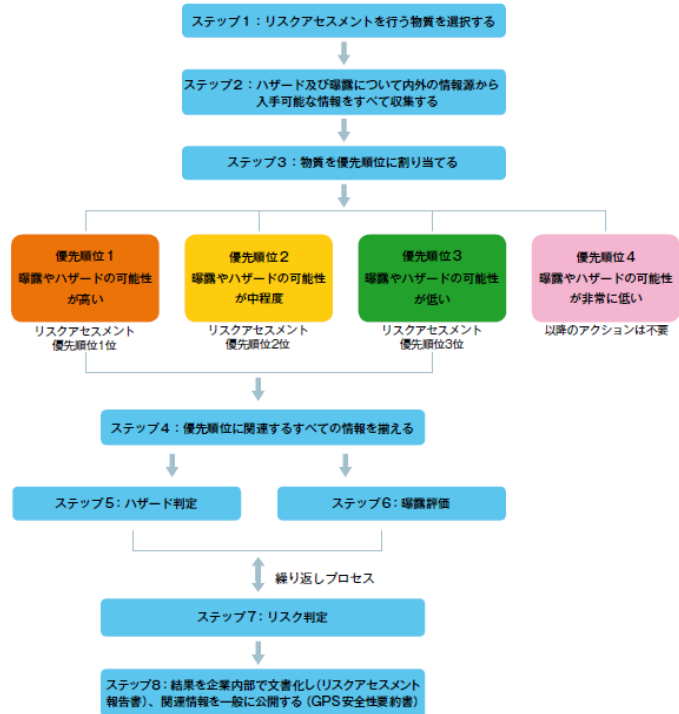
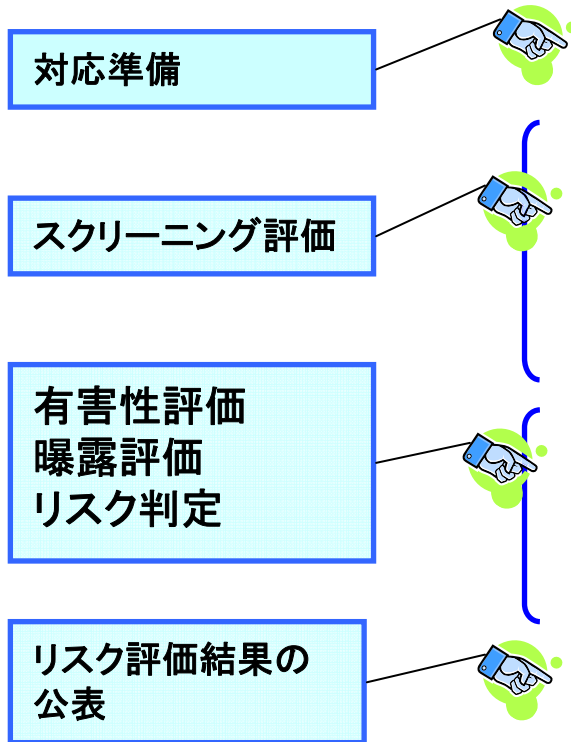
## GPS/JIPSの実施により期待される成果

- ◆ 企業による自社化学製品のライフサイクル全体を考慮したリスク評価の実施
- ◆ リスク評価結果に基づく、自社化学製品の安全性要約書の社会への公開

- 国際レベルでのPS/GPSの推進
- サプライチェーン全体での安全管理の促進
- 社会への情報公開によるリスクコミュニケーションの促進
- 自社製品の付加価値の向上



## GPS/JIPSのリスク評価プロセス



図： ジャパンイニシアティブ オブ プロダクトステewardシップ (JIPS) リスクアセスメントガイドンス第2版 (日本化学工業協会作成) より抜粋